

株主のみなさまへ

山洋電気株式会社

第123期中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

(証券コード：6516)



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。第123期中間報告書のお届けにあたりまして、当中間期の概況や取り組みについてご報告申し上げます。

■ 当中間期の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国では個人消費が堅調ながらも製造業が低調な傾向にあり、欧州は景気が減速し、中国は成長率が低下し経済活動が停滞しました。

日本経済は、設備投資を中心に緩やかに回復の兆しが見えましたが、世界経済の景気後退にともない輸出が減少したため、経済活動が鈍い動きとなりました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である通信装置、ロボット、半導体製造装置などのファクトリーオートメーション市場からの需要は低調でしたが、一部に回復の兆しが見られました。

■ 第9次中期経営計画と現在の取り組み

2021年4月からスタートした第9次中期経営計画では、「殻を破る」をテーマに、今までになかった新しいこと、新しいやり方を創出し、山洋電気グループがグローバル企業として「世界のトップブランド」を構築することを目標としています。4年目の今年は、経営の変革やグローバルな生産能力の強化、営業体制の拡充を進めてまいりました。

2024年4月より、経営基盤と事業体制の強化を目的として、従来の3事

業部制にかわり、社内カンパニー制を導入いたしました。社内カンパニー制の導入により、各カンパニーが持つ技術と強みを活かした製品開発を進め、グループの成長を加速させてまいります。

生産活動においては、2024年4月に SANYO DENKI PHILIPPINES, INC. の第4工場が稼働を開始いたしました。当社グループの主要な販売市場である通信装置、半導体製造装置向けの需要回復や新市場の拡大に備え、多くの製品を迅速に提供できる体制を整えることで、将来を見据えた競争力の強化に努めています。

営業活動においては、2024年5月には、中国の成都に新たなグループ会社を設立いたしました。中国の西南・華中地区を中心に新規開拓と現地代理店のサポートをおこなってまいります。

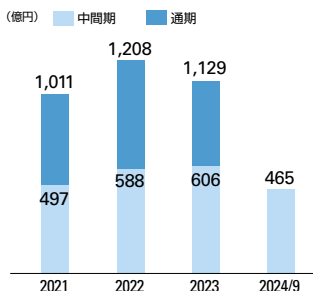
環境に関する取り組みでは、当社では既存製品や従来の市場製品と比較し、自社基準に基づいて環境負荷が小さいと認められた製品を、「環境適合製品（エコプロダクツ）」として認定しています。2024年度よりエコプロダクツの認定基準よりさらに環境負荷の低減効果が大きい製品を「エコプロダクツプラス」として認定し、より高いレベルでの環境負荷の低減を目指しています。

「エコプロダクツ」と「エコプロダクツプラス」の製品ラインアップの拡充と販売拡大を通じて、サプライチェーン全体の環境負荷低減に貢献してまいります。

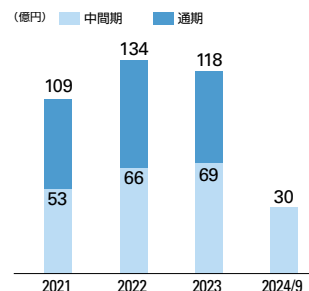
代表取締役会長
山本 茂生

財務ハイライト

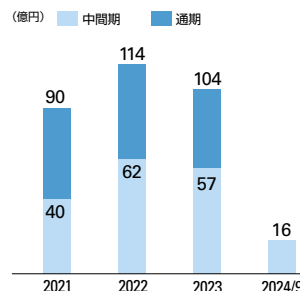
▶ 売上収益



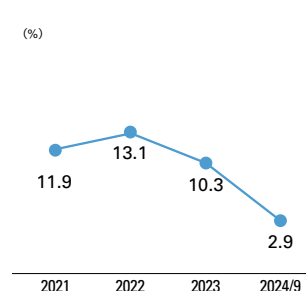
▶ 営業利益



▶ 親会社の所有者に帰属する当期利益



▶ 株主資本利益率（ROE）



セグメント別の概況

サンエースカンパニー

サンエースカンパニーは、冷却ファン、ファンユニットなどのSan Ace(サンエース)ブランド製品の開発、製造および販売をおこなっています。San Aceでは、高性能サーバ向けの需要が前期に引き続き好調でした。また、医療機器向けの需要に回復の兆しが見られました。一方、無線基地局向けなど通信関連機器、ロボット、インバータドライブなどのFA関連向けの新規需要は低調でした。

売上収益	180 億円
前年同期比 25.0%減	
受注高	145 億円
前年同期比 8.3%増	
受注残高	148 億円
前年同期比 38.1%減	

エレクトロニクスカンパニー

エレクトロニクスカンパニーは、無停電電源装置(UPS)、インバータ、エンジン発電装置、パワーコンディショナなどのSANUPS(サナップス)ブランド製品ならびにサーボンプ、ステッピングドライバ、コントローラなどのSANMOTION(サンモーション)ブランド製品の開発、製造および販売をおこなっています。

SANUPSでは、交通システム、航空関連の社会インフラ向けの需要が堅調でした。また、再生可能エネルギー関連の需要は自家消費用途を中心に、安定した需要が継続しました。SANMOTIONでは、半導体製造装置、ウエハ搬送ロボット向けの需要が低調でしたが、一部に回復の兆しが見られました。一方、中国市場の低迷により、金属加工機、射出成形機、工作機械向けの需要は低調でした。

売上収益	99 億円
前年同期比 13.9%減	
受注高	87 億円
前年同期比 2.6%減	
受注残高	102 億円
前年同期比 16.5%減	

モーションカンパニー

モーションカンパニーは、サーボモータ、ステッピングモータなどのSANMOTION(サンモーション)ブランド製品の開発、製造および販売をおこなっています。

SANMOTIONでは、電子部品実装機向けの需要が堅調に推移しました。半導体製造装置、ウエハ搬送ロボット向けの需要は低調でしたが、一部に回復の兆しが見られました。一方、中国市場の低迷により、金属加工機、射出成形機、工作機械向けの需要は低調でした。

売上収益	159 億円
前年同期比 27.5%減	
受注高	143 億円
前年同期比 9.2%増	
受注残高	112 億円
前年同期比 47.8%減	

その他

産業用電気機器、制御機器、電気材料などの電気機器販売事業および産業用コントロールシステムの設計、開発、施工、保全工事を提供する電気工事事業をおこなっています。

産業用電気機器、制御機器および電気材料は、医療機器向けからの需要が増加し、堅調に推移しました。また、公共インフラ向けの需要も堅調でした。一方、半導体業界、太陽光発電向けの需要は低調でした。

電気工事事業は、主要顧客である鉄鋼業界からの需要は、老朽化した電気設備の点検、補修工事が計画どおりにおこなわれ堅調でした。一方、一般産業向けの電気設備工事の需要は回復の傾向にあるものの低調でした。

売上収益	25 億円
前年同期比 14.8%減	
受注高	28 億円
前年同期比 2.9%減	
受注残高	19 億円
前年同期比 2.4%増	

新製品紹介

二重反転ファン San Ace 60 9CRHタイプ

業界トップ^{*1}の高静圧と高風量を実現した□60 × 56 mm厚の二重反転ファンです。当社従来品^{*2}に比べて、最大静圧は約2.9倍、最大風量は約12%に向上しました。エコプロダクツプラス^{*3}にも認定された環境に配慮した資源や技術を活用したSDGsに貢献する製品です。

※1 2024年6月12日現在。軸流DCファンとして。同サイズの場合。当社調べ。

※2 当社従来品は、二重反転ファン[□]60 × 56 mm厚「San Ace 60」9CRAタイプ(型番:9CRA0612P6K001)。

※3 エコプロダクツは、製品本体および包装材について、市場や既存の製品と比較し環境負荷が小さい製品です。ライフサイクルにおける製品の小型・軽量化、消費電力・CO₂排出量低減などの自社評価項目について評価をおこない、一定の基準を満たした製品をエコプロダクツ、高い基準を満たした製品をエコプロダクツプラスとして認定しています。

用途 サーバ、通信機器の冷却など



二重反転ファン San Ace 80 9CRHタイプ

業界トップ^{*1}の高静圧と高風量を実現した□80 × 80 mm厚の二重反転ファンです。圧倒的な高性能でありながら、当社従来品^{*2}と同等の消費電力に抑え、高い冷却性能を必要とする高機能なGPUサーバ、通信機器などに最適な製品です。また、エコプロダクツにも認定された環境に配慮した製品です。

※1 2024年7月16日現在。軸流DCファンとして。同サイズの場合。当社調べ。

※2 当社従来品は、二重反転ファン[□]80 × 80 mm厚「San Ace 80」9CRBタイプ(型番:9CRB0812P8G001)。

用途 生成AIで必要となるGPUサーバ、通信機器など



パワーコンディショナ SANUPS W83A

さまざまな再生可能エネルギーで使用できる世界初^{*}のパワーコンディショナです。太陽光、風力、水力、バイオマス、廃熱利用などの再生可能エネルギーの発電電力を適切な電力制御によって無駄なく最大限に利用できます。

※ 産業用パワーコンディショナにおいて。2024年5月28日現在。当社調べ。

用途 太陽光、風力、水力、バイオマス、廃熱利用などの発電システム、蓄電池を使用した充放電システム



ACサーボシステム SANMOTION G

高性能、小型・軽量、省エネルギー化を実現したサーボシステム「SANMOTION G」のラインアップを拡充し、定格出力1.8~5 kWのサーボモータと、アンプ容量75 A・100 A・150 Aのサーボアンプを開発しました。装置を高速かつ高精度に力強く制御できるので、装置の生産性と加工品質の向上に貢献します。

用途 ロボット、工作機械、半導体製造装置、食品機械、医療機器など



社内カンパニー制の導入

当社グループでは、2024年4月より社内カンパニー制を導入いたしました。

社内カンパニーの体制は、「サンエースカンパニー」「エレクトロニクスカンパニー」「モーションカンパニー」の3つのカンパニーから構成され、それぞれが技術力や生産効率を最大限に高めた組織体として機能するものです。

各カンパニーでは、

1. 独立性を高めた利益確保の体制構築
2. 設備・資金の有効活用
3. 技術の結集による新市場への展開

を3つの柱として強化し、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を実現いたします。



フィリピンの第4工場が稼働を開始

2024年4月に、グループ会社であるSANYO DENKI PHILIPPINES, INC.の第4工場が稼働を開始しました。この工場では、通信装置や半導体製造装置に使用される、San Ace、SANUPS、SANMOTIONすべてのブランドの製品を生産できる体制を整えています。

当社グループの主要な販売市場である通信装置や半導体製造装置をはじめとした新市場の拡大をめざし、将来を見据えた競争力の強化に努めています。

これからも、世界中のお客さまに均一で高品質な製品をスピーディにお届けするために、製品の供給体制を強化してまいります。



中国・成都に山洋電気（成都）貿易有限公司を設立

2024年5月に当社グループは、新たに山洋電気（成都）貿易有限公司を設立いたしました。重工業都市が多く、中国内陸部で経済を牽引する西南・華中地区で、半導体製造装置、医療、通信、蓄電などの市場に向けさらなる事業拡大をめざし、製品の販売や現地代理店の支援など多様な営業活動を展開してまいります。

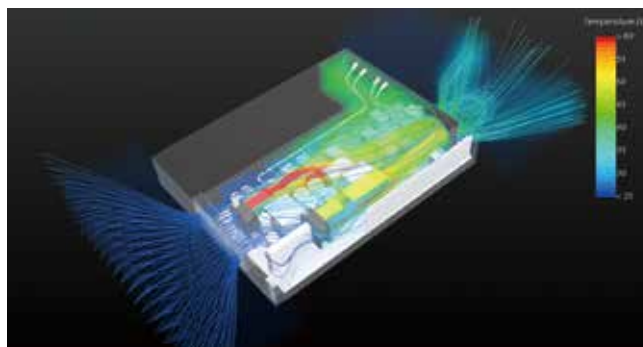
生産技術エンジニアリングサービス

当社グループは、「San Ace」「SANUPS」「SANMOTION」の3つのブランドで、業界トップの製品を提供しています。

このたび新たな取り組みとして、生産現場の自動化・効率化を実現する「生産技術エンジニアリングサービス」の提供を開始いたしました。自社で培った高度な生産技術ノウハウと製品開発技術を活用し、お客さまの工場の自動化や省人化を支援し、生産性向上を実現してまいります。



生産誘導システム的设计・製造



流体シミュレーションサービス

株式の状況

株式総数および株主数	(2024年9月30日現在)
発行可能株式総数	50,000,000 株
発行済株式の総数	12,972,187 株
株主数	3,657 名

大株主	(2024年9月30日現在)	
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
協同興業株式会社	1,845	15.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,150	9.64
INTERTRUST TRUSTEES(CAYMAN)LIMITED SOLE Y IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF JAPAN-UP	577	4.84
立花証券株式会社	447	3.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	377	3.16
山洋開発株式会社	318	2.67
日本生命保険相互会社	298	2.50
INTERTRUST TRUSTEES CAYMAN LIMITED AS TRUSTEE OF JAPAN-UP UNIT TRUST	240	2.01
株式会社みずほ銀行	227	1.91
株式会社八十二銀行	195	1.64

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式1,040千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

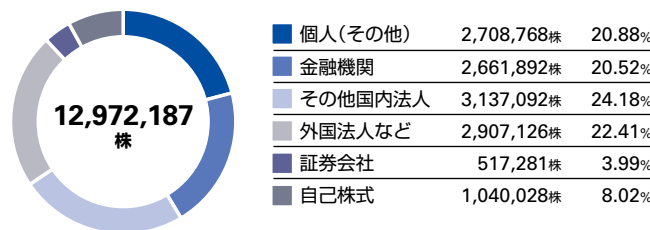
株主メモ	(2024年9月30日現在)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年4月1日から起算し3ヶ月以内
期末配当受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当受領株主確定日	毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法によりおこないます。 (やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこないます。)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社 本店
お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉2-8-4 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

各種手続のご連絡先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人へご連絡ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定など証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へご連絡ください。
- ※証券会社をご利用でない株主さまへ
特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へご連絡ください。

会社概要	(2024年9月30日現在)
会社名	山洋電気株式会社
創業	1927年8月
本社所在地	〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1 TEL 03-5927-1020
資本金	99億円
社員数	3,659名(グループ全体)

所有者別株式分布状況	(2024年9月30日現在)
------------	----------------



配当金情報	(2024年9月30日現在)		
第123期(自2024年4月1日～至2025年3月31日)配当について			
中間配当	一株につき	75円	
期末配当	一株につき	75円(予想)	
年間	一株につき	150円(予想)	

(お知らせ)

当社の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社は、三井住友信託銀行株式会社と2025年1月1日をもって合併いたします。これに伴い、同日以降、当社の株主名簿管理人および特別口座の管理機関は次のとおり変更となります。なお、2025年1月1日から5日までは、三井住友信託銀行の休業日につき、実際のお取扱いは2025年1月6日(月)からとなります。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-707-843 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)
インターネットホームページ URL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

各種当社サイト へのご案内

ホームページ



<https://www.sanyodenki.co.jp/>

統合報告書



<https://www.sanyodenki.co.jp/ir/library/integrated.html>

インベスチングガイド



https://www.sanyodenki.com/archive/document/investorrelations/investorsguide/investors_guide_2024.pdf